

吉田税務署長賞

わかってほしい納税の意義

広島県立吉田高等学校二年 沖田 るる花

日本国憲法第三十条「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負ふ」と明記されているように、国民の三大義務の一つでもある納税の義務ですが、税金を払っている私達は決して良いイメージを持っているとは言えないのではないのでしょうか。そこで私は税金の使い道を理解していないため納税に抵抗があるのではないかと考えました。

まず、用途について調べてみると、年金、医療、教育、警察、防衛といった公的サービスを運営するための費用として使われており、私達にとって必要不可欠なものに使われていることがわかりました。特に驚いたのは公立学校の教育費が多額の税金で負担されているということでした。私達が授業を受けられているのも税金のおかげだと知り、税金の大切さを実感しました。

また、ニュースで令和五年度の税収が過去最高額であったことを知りました。さらに調べてみると、従来見込み額より二兆円以上増え、四年連続で過去最高を更新していることがわかりました。SNS上で「税収が増えたなら少しでも減税して欲しい」という意見を目にし、私も減税が可能ではないかと考えました。

しかし、増えた分は防衛費の増額や国債の返済に使われていることも知りました。政府の借金は、返すべきだと思うので、増収分を回すことは私も必要だと思い納得しました。

このように、自ら調べて初めて税金の意義がわかったので、やはり納税者に税金の大切さを理解してもらうことが必要だと思いました。そのためには、税金のことについて知る機会をつくるべきだと考えました。現在、国税庁などによる租税教室が行われていますが、それを知らない人も多くいます。その宣伝として、SNSを使うことも有効だと思います。

今回、私がこの作文を通して税について調べ、知ったように作文に限らず、SNSに投稿できる程度の短い動画を作るコンクールなどを開き、それを活用して広報活動を行うなど、もっと多くの人が気軽に参加することのできる機会をつくると良いと思います。

税について理解し、納得したうえで納税することで人々が支え合い、より良い社会になっていくと思います。

税に対するマイナスなイメージが減り、納税への意識が高まることを願って、私は国民の義務を果たしていると思います。